



お名前（ご年齢）： K. T.さん（50歳）

プロフィール： 社会福祉法人 法人本部長

◆ 10年後の事業計画は、どれくらいできましたか？

当初イメージしたものが、ほぼできあがりしました。

◆ どのような内容になりましたか？

既存事業を核に新規事業と相乗効果を持ちながら堅実に事業領域を拡大。

◆ 10年後の自社はこうなっています。

社会のニーズに即した新たなサービスの柱を確立し、地域社会に貢献し存在感を増している。この過程で収益性は高まり、スタッフの求心力のある良い法人となっています。

◆ あなたにとって「事業計画策定サポートプログラム」とは？

ビジョン・マーケティングと MBA の手法を体系的に自社の課題に当てはめて検証し、混然としていた経営課題を整理し、様々な角度から打ち手を考察するものでした。

◆ 「事業計画策定サポートプログラム」を受講した理由

中期5か年計画が終了し、新たに計画策定の時期に来ていましたが、経営環境が激変し様々な経営課題に直面し、これまでの延長線上では未来が描けない状況に陥っていたため、体系的かつ包括的にこれらの課題を整理し意思決定したいと思ったからです。

◆ 「事業計画策定サポートプログラム」の良かった点・役に立った点を教えてください

ビジョン・マーケティングと MBA の手法により多角的に課題を見つめることができました。混然としていた課題も一つのストーリーに収斂していき、自分としても納得のいく計画となりました。またこれらの作業を通じて様々なツール、ビジョン・マーケティングの考え方を理解することができました。

◆ 「事業計画策定サポートプログラム」でこんなに変わった！

受講前の私

- ・課題が混然一体となっていた
- ・会社と個人のビジョンが混在
- ・アカウンティング、ファイナンスとアクションプランが乖離していることがあった。

受講後の私

- ・課題が一つのストーリーに収斂された
- ・会社、個人でのビジョンをそれぞれできるようになった意識
- ・ツールを活かしてアクションを組み立てられるようになった。

◆ これから受講する方へのメッセージ：

多くの課題が漠然としていましたが、一つの体系に沿って整理することができ、自分自身の立ち位置も客観的に見つめ直す契機となりました。課題に応じた打ち手の考えとそのプライオリティもよく考えることができ、結果自分の考えを内外にアピールすることができるツールを手に入れることができたと思います。経営の精度を上げるには、必須のプログラムと思います。ご受講をお勧めします。